

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称			34	東京都台東区立今戸児童館	部課名	教育委員会事務局児童保育課	
選定方法			<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
					指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地]	台東区今戸1-3-6
	[規模]	RC3階建 事務室・遊戯室・工作室・図書室・音楽室・事務所等 今戸こどもクラブ併設
(3)	[委託事業]	①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業
	[自主事業]	自主事業は行っていない。
(4)	[利用者]	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
	[利用料金制]	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ( )
(5)	[開館日・時間]	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制]	12名 (内 訳) 常勤職員5名、短時間職員3名、アルバイト等4名 (前年増減) 常勤職員1名増、短時間職員1名減、アルバイト等3名増

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	39,904,000	37,395,877	46,432,000	46,332,935
	利用料金収入				
	その他収入（行事参加費収入）		22,300		20,650
	計	39,904,000	37,418,177	46,432,000	46,353,585
支出	人件費	34,244,000	32,886,587	40,395,000	41,421,317
	光熱水費	1,620,000	1,167,652	1,665,000	1,243,430
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,728,000	805,003	1,582,000	860,902
	修繕費	300,000	417,690	600,000	439,344
	事業費	747,000	1,271,853	738,000	1,338,248
	その他支出（事務消耗品費等）	1,265,000	869,392	1,452,000	1,050,344
	計	39,904,000	37,418,177	46,432,000	46,353,585
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	326	331	332	332
事業実施回数	回	1,100	1,104	1,124	1,056

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用者数	人	36,000	32,355	35,516	33,262
利用登録者数	人	800	846	717	844

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

利用者数は減少したが、放課後子供教室や各幼稚園、学校の放課後の予定を踏まえた行事を組み立てるなどの改善を図っている。また、安全性を高めるため、遊戯室の利用を世代ごとに区分するとともに、異なる学校や学年の児童が交流する時間も設定するなど、幅広い世代の利用促進に努めた。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設運営にあたっては、子供、家庭、地域に分けた活動の事業計画書を作成し、事業終了後は、実績と検証を含めた事業計画書が提出されている。また、災害時を想定した非常食作りやサバイバルワークを実施するなど、緊急時に備えた適正な運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	休館日である日曜日にも、第2日曜日以外は施設開放を行い、児童の居場所を確保するなど、児童福祉の向上に努めている。進学や交友関係の悩みなどの相談には、学校や家庭と異なる立場から聞き取り、関係機関に繋ぐなどの支援が、施設の目的に合致している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	乳幼児による遊具の誤飲を防ぐため、乳幼児と小学生の遊具の置き場を分け、安全管理に努めている。また、乳幼児の遊具の消毒は毎日行い、安全点検を行うなど、安全や衛生に配慮した維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	昨年度利用者満足度が低かった「児童館たより」の読みやすさを改善するため、用紙やレイアウトを変更するなど、利用者の要望に対応したサービス向上に努めているなどの取組みが評価できる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	扇風機やサーキュレーターを使用して、適切な空調管理に努め経費節減を図っている。一方で、予算科目間の流用等が見られるため、計画的な予算執行に課題がある。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好  ( 98 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>各世代が安心して楽しく児童館を利用できるように、行事や日常活動を工夫しており、幅広い世代の継続的な利用につながる運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>予算内の執行ではあるが、予算科目間での流用等が見られるため、計画的な予算執行が求められる。</p>